

次期森林計画についての森林管理署の検討方向

— 目 次 —

1. 現行計画の概要

- (1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項
- (2) 国有林野の維持及び保存に関する事項
- (3) 林産物の供給に関する事項
- (4) 国民の参加による森林の整備に関する事項

2. 次期計画の検討方向

北薩森林管理署

1. 現行計画の概要（令和2年4月1日～令和7年3月31日）

- ・ 北薩森林計画は、鹿児島県の北西部に位置し、薩摩川内市、阿久根市、出水市、伊佐市、さつま町、長島町の4市2町からなり、区域面積は195,983ha、県総面積の21%を占めています。流域の森林総面積は133,112ha、国有林面積は31,841haとなっています。
- ・ 北薩流域の国有林は、流域内の全森林面積の24%にあたり、大部分が川内川の各支流上流域で、北薩中央部の紫尾山(1,067m)周辺を中心に標高500m以上の区域に多く位置しています。
- ・ 林況は約68%がスギ・ヒノキの人工林であり、天然林は紫尾山や奥十層等に広がり、景観や森林浴が楽しめる森林となっています。



(1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

① 機能類型に応じた管理経営

国有林野の管理経営に関する基本計画に即して、開かれた「国民の森林」に向けた取組を推進するため、個々の国有林野を重点的に発揮すべき機能に応じて、5つの機能類型に区分し、それぞれの発揮すべき機能に応じて管理経営を行っています。

機能類型区分	機能区分の考え方	目指すべき森林の姿	面積 (ha)
山地災害防止 タイプ	山地災害の防止及び土壌保全機能の発揮を重視	根や表土の保全、下層植生の発達した森林	6, 117
自然維持 タイプ	原生的な森林生態系や希少な生物の成育・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能の発揮を重視	良好な自然環境を保持する森林、希少な生物の育成・成育に適した森林	81
森林空間利用 タイプ	保健、レクリエーション、文化機能の発揮を重視	保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林	164
快適環境形成 タイプ	快適な環境の形成の機能を発揮を重視	騒音の低減や大気の浄化など、人の居住環境を良好な状態に保全する役割を持つ森林	—
水源涵養 タイプ	水源の涵養の機能の発揮を重視第一とすべき森林	人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入による育成複層林への誘導を図る森林であり、森林資源の有効利用にも配慮	25, 479

② 森林の流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献

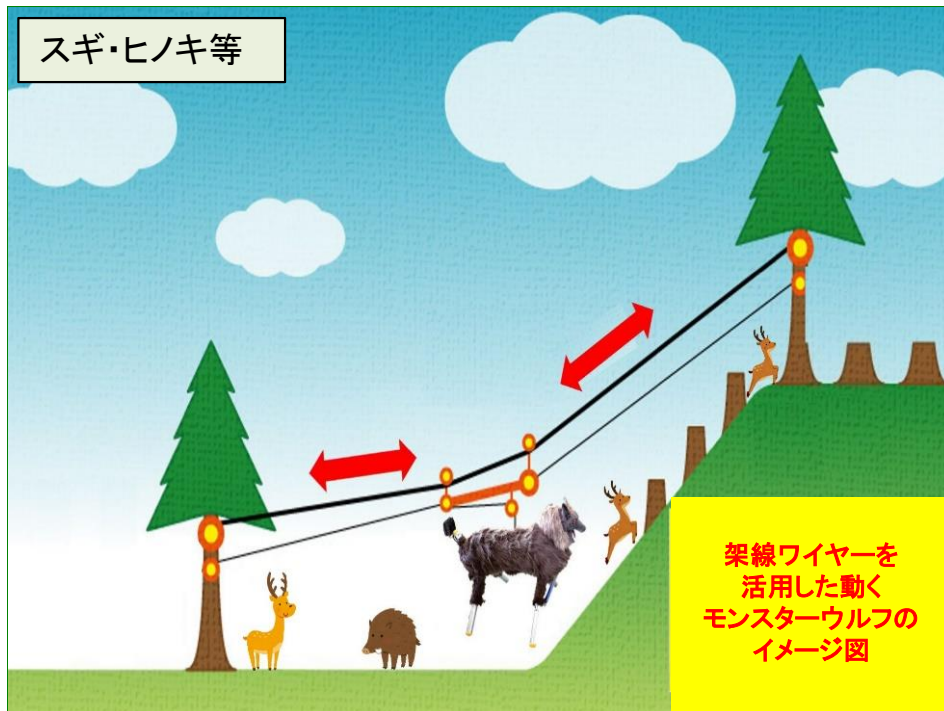
県・市町村等との密接な連携を図るとともに、組織力・技術・資源を活用し、民有林経営の支援等に積極的に取り組んでいます。

特に北薩計画区におけるシカによる獣害被害は、森林・林業だけでなく、地域の農業、住民生活においても甚大な被害を及ぼしており、野生鳥獣被害対策は喫緊の課題となっています。

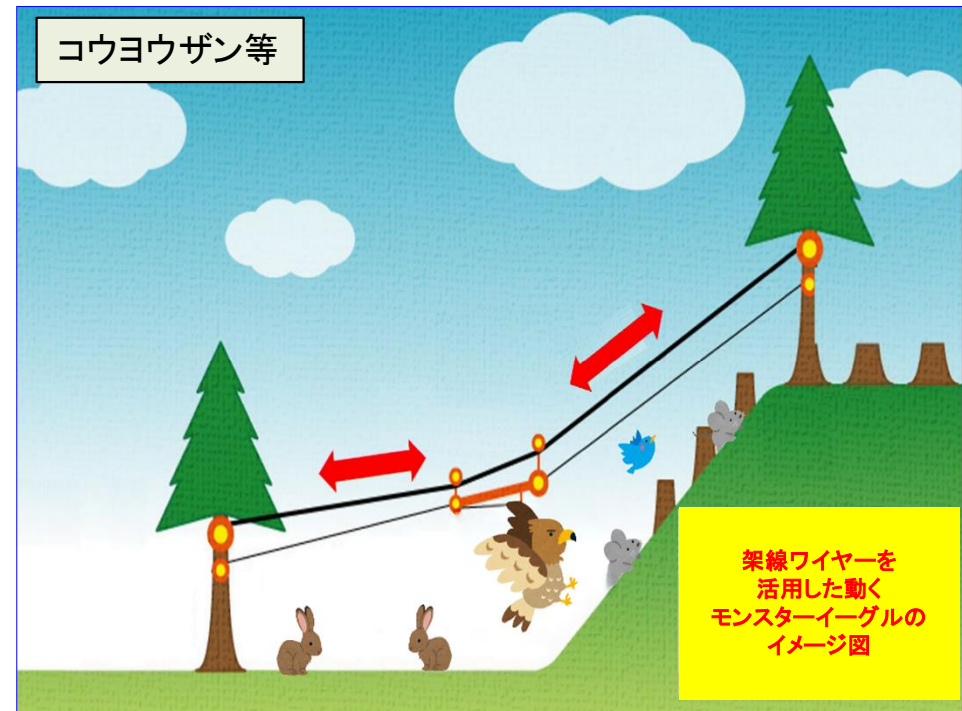
そのような中、シカネットに頼らない、低コストで簡易かつ、環境及び動物に配慮し、次世代を見据えた野生鳥獣被害対策を、市町村、猟友会、林業事業者と連携し取り組んでいます。

また、効果的・効率的な捕獲をより一層高めるため、市町村や猟友会等と森林環境譲与税を活用したシカ被害対策協定を締結し、地域の野生鳥獣被害対策に務めています。

スギ・ヒノキ等



コウヨウザン等



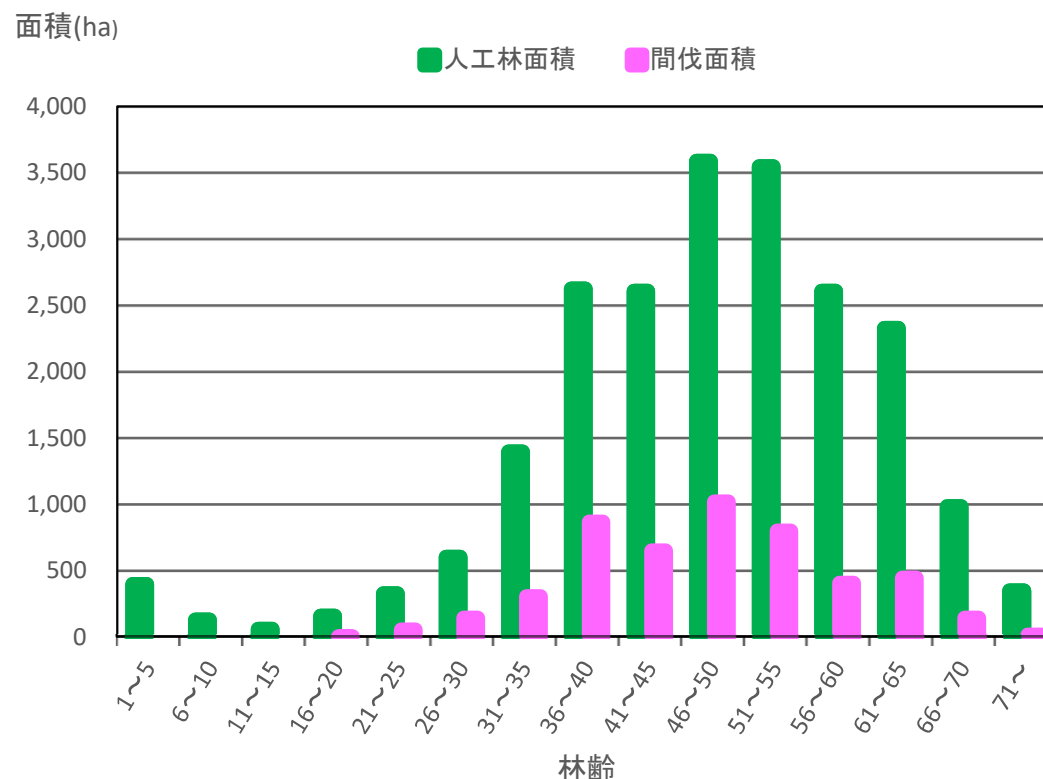
③ 地球温暖化防止に向けた積極的な間伐等の推進

本計画区の人工林の面積は約21,688haで、16年生から60年生の人工林の面積は約17,449ha（人工林面積の80%）です。

また、現行計画（令和2年度～令和6年度）では間伐を約4,844ha計画しており、森林吸収源対策のためにも間伐を推進しています。



列状間伐を導入した人工林

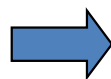


④ 多様で健全な森林の整備・保全

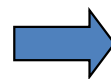
間伐をはじめとした森林整備に積極的かつ着実に取り組むとともに、針広混交林化、複層林化、長伐期化などを通じて、多様で健全な森林の整備・保全を推進します。



現状(人工林)



誘導伐による複層林化



長伐期化された森林

⑤ 国民生活の安全・安心の確保に向けた効率的・効果的な治山事業の展開

安全・安心の確保に向けた効率的・効果的な治山対策に取り組んでいます。



鹿児島県阿久根市の田代鹿倉国有林で発生した山地災害箇所について、山腹工による復旧工事を実施しました。

また、鹿児島県さつま町の犬ヶ八重治山工事を含む全ての谷止工の資材に間伐材等を積極的に使用し木材利用の推進に取り組んでいます。

(2) 国有林野の維持及び保存に関する事項

① 生物多様性の保全(保護林)

本計画区には貴重な天然林等が多数存在しており、これらについては保護林を設定し、適切に保護・保全を図っています。

種類	名称	特徴等	面積ha
希少個体群保護林	紫尾山ブナ等遺伝資源	温帯のブナ、アカガシ、ウラジログシなどの暖帯の樹種が混成した多様性のある貴重な森林生態系を保護。	32
	冷水イチイガシ等遺伝資源	暖帯林の代表的植物であるイチイガシ、アカガシ、シラカシ、イスノキ、タブノキ、ツブラジイの貴重な森林生態系を保護。	13
	ヒノタニシダ	点在するスギと暖帯林の代表的なカシ、シイ類との混交林で、我が国における保護上重要な植物種(RDB)において「絶滅危惧ⅠB類(EN)」位置づけられた「ヒノタニシダ」が生育している貴重な植物群落を保護。	3
	冷水サツマシダ等	暖帯林の代表的なカシ、シイ類を主体とした広葉樹林で、我が国における保護上重要な植物種(RDB)において「絶滅危惧ⅠB類(EN)」と位置づけられた「サツマシダ」を含め約70種類が生育している貴重な植物群落を保護。	1



希少個体群保護林

ヒノタニシダ
希少個体群保護林



出水市

高川ダム

冷水イチイガシ等
遺伝資源希少個体群保護林



伊佐市

鶴田ダム

冷水サツマシダ等
希少個体群保護林



紫尾山ブナ等遺伝資源
希少個体群保護林



さつま町



② 野生鳥獣被害対策

シカの食害によるスギ・ヒノキ造林地の被害が多く見受けられることから、必要な箇所においては、シカネットなどを設置するなど、被害防止対策を実施しています。

シカネットの設置



(3) 林産物の供給に関する事項

① 高効率・低コストな作業システムの定着

伐採、造林等の事業の実施の効率化を図りつつ、健全な森林を整備するとともに、木材の需要動向や木材産業の状況等を的確に把握しつつ、国有林材の安定的な供給を推進しています。



集成材工場や合板工場、製材工場等の原材料となる木材を安定的に供給する「システム販売」を推進しています。



生産コストの削減を図るため、簡易で崩れにくい路網の整備を推進しています。

(4) 国民の参加による森林の整備に関する事項

① 国民参加の森林づくり

国有林野をフィールドとした国民参加の森林づくりを推進しています。

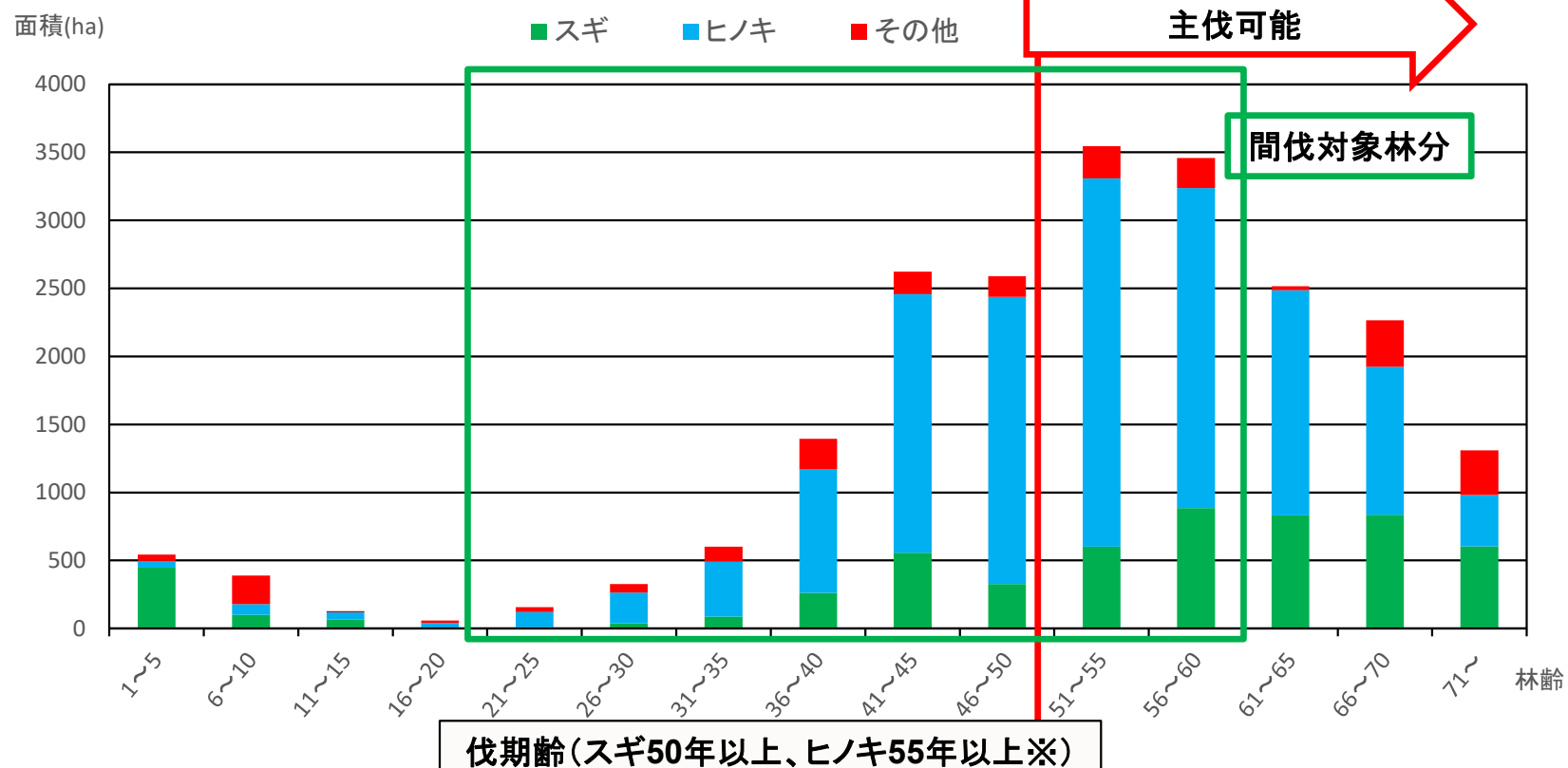


地元ボランティア団体や企業等にフィールドを提供し、協働して、国民参加の森林作りを推進しています。

2 次期計画の検討方向

(1) 管理経営上の課題

- 本計画区の国有林野が有する水源かん養機能や保健文化機能等の公益的機能の発揮を高めていく必要があります。
- 次期計画においても主・間伐対象となる20年生から60年生の人工林の割合は68%であり、健全な森林づくりのほか森林吸収源対策の上からも引き続き主・間伐を推進する必要があります。また、伐期を迎えた主伐可能林分が多くなることから、計画的な間伐とともに主伐も計画し、森林資源の循環利用の観点からも確実な更新を図る必要があります。

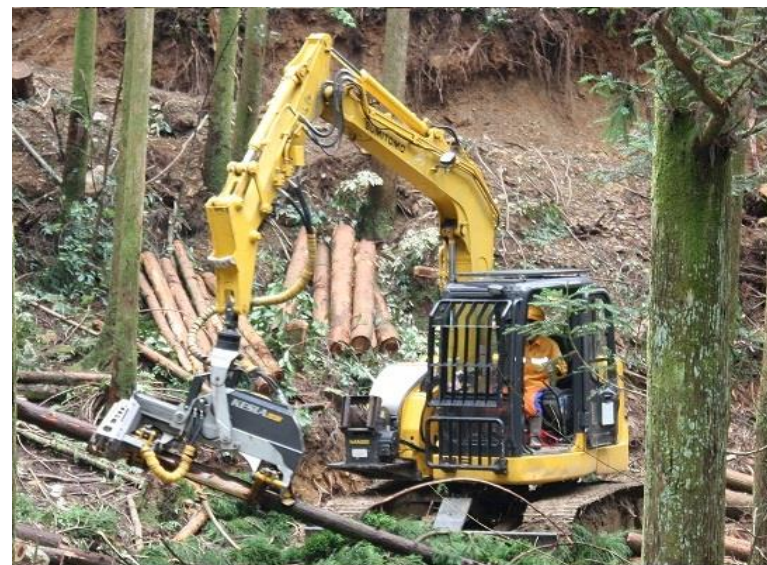


※スギ・ヒノキ普通伐期施業群を例示。伐期齢は施業群によって異なります。

- 積極的に主伐・再造林行うべき森林においては、将来的に均衡がとれた齡級構成に移行させることに配慮しつつ、計画的に森林資源の循環利用を行うことにより、森林の有する多面的機能の持続的な発揮を図るとともに、森林吸収源対策にも貢献する必要があります。
- 健全な森林を整備していくため間伐等の適切な実施と伐採後の更新による森林整備とともに公益的機能の発揮と両立した木材生産を行う必要があります。
- 海岸防災林の再生、森林病虫害等に強い多様な森林の造成を立地条件に応じ推進していく必要があります。
- 本計画区は特にシカによる森林被害が多い状況を踏まえ、被害防止と対策を実施する必要があります。
- 本計画区には各種保護林を設定しており、紫尾山の貴重なブナ林及び絶滅のおそれのある「ヒノタニシダ」、「サツマシダ」の生育環境の保全に留意しつつ、国有林野を適切に管理していく必要があります。



- 国民参加による森林づくりに関する問い合わせや相談が増加していることから、これらの要請に適切に応えていく必要があります。
- 国産材の安定供給を実現するため、生産システムのコスト縮減と生産性向上を進める必要があります。
- 木質バイオマスエネルギーの原料として、新たなニーズに応えるため、これまで利用してこなかった林地残材等の利用を進めていく必要があります。
- 国民が安全・安心に暮らせる環境づくりに向けて、治山対策に取り組む必要があります。



(2) 計画内容

- 公益的機能の維持増進を旨とする管理経営を行うとの方針の下、多様で健全な森林の整備・保全を行うほか、森林吸収源対策として引き続き間伐を推進するとともに、将来的に均衡がとれた齢級構成に移行させることに配慮しつつ、主伐とその後の再造林を計画的に推進する方向です。
- 保安林の保全機能を維持することとし、松くい虫などにより保全機能の低下した海岸林においては広葉樹への樹種転換など多様な森林の造成を推進する方向です。
- 貴重な植物種の保護を目的とする保護林については、生育環境に十分に配慮した森林施業、森林の保護・管理に努める方向です。
- 生産システムのコスト縮減と生産性の向上を図るため、簡易で壊れにくい路網の整備を引き続き推進する方向です。
- これまで利用されてこなかった林地残材等の有効利用を図るため、これらを含め国産材安定供給のシステム販売に努める方向です。
- 効果的な治山事業の実施に取り組むとともに、地域住民と協働して山地災害対策を進める方向です。
- シカによる森林被害について、関係者と連携して被害防止対策を実施する方向です。